

三内丸山通信

大人の墓がさらにのびました

今年の発掘調査

五月二十六日より、発掘調査が始まりました。今年度は十月二十四日までの予定（土・日・祝祭日、毎月第一金曜日は作業休み）で、昨年度に引き続き三地点を調査します。調査面積は約三〇〇〇平方メートルです。

第八次調査は、大人の墓の広がりの調査です。昨年の調査で二列に並んだ大人の墓が三五メートルまで延びていることが判明していましたが、さらに東側へ調査区を拡大し、東端を確認したところ、大人の墓はさらにのび、約四二〇メートルとなりました。この場所は当時の海岸近くで、集落の入り口部分にあたると思われると考えられます。

第九次調査は、昨年一本見つかった木柱の周辺を調査します。建物跡と考えられるような規則的な柱穴の配置や他の木柱の有無を確認します。



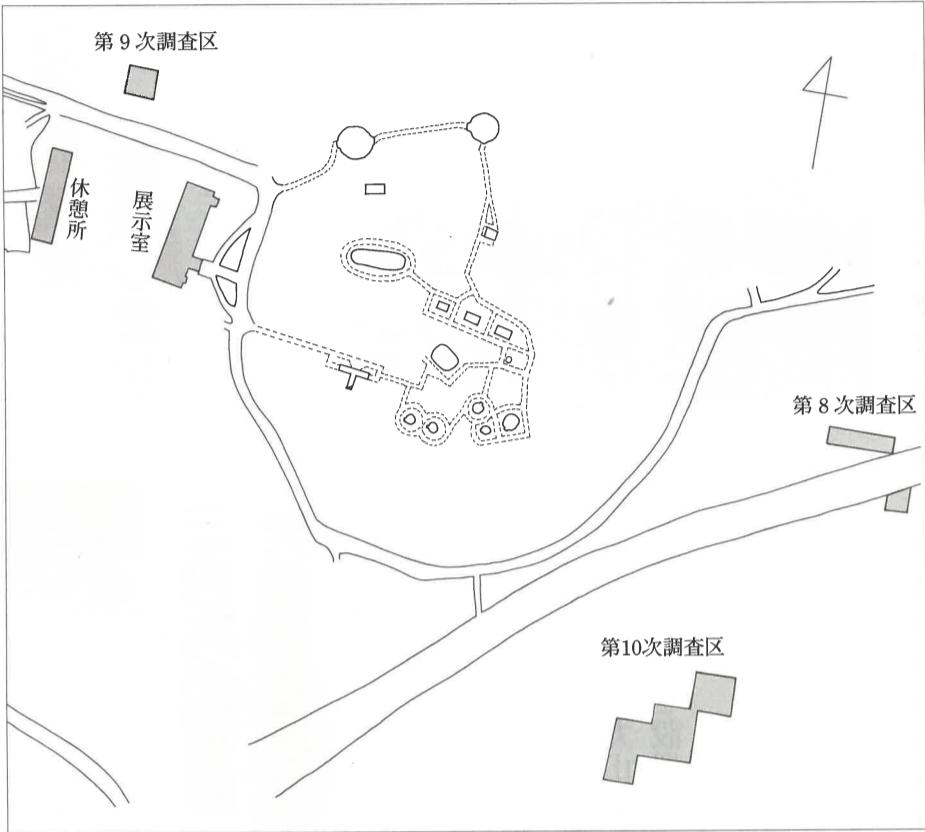
第十次調査は、南地区の集落の広がりや移り変わりを調査します。特に昨年見



見つかった、台地平坦部の掘立柱建物跡と考えられる柱穴群、多数検出された竪穴住居跡の精査を行います。

見学できます

発掘調査は公開をしており、発掘調査の行われていない土・日・祝日も見学できます。発掘調査の最前線をのぞいてみてください。



今年度の発掘調査区

体験学習に参加しませんか

今年も体験学習を行っています。土器作りや鹿の角でのつり針作りなどを新たに加え、さまざまな内容を予定しています。

また、10人以上の団体であれば、随時申し込みの受け付けをしています。ぜひ参加してみませんか。お待ちしています。詳しい内容は、三内丸山遺跡対策室まで、お問い合わせください。

平成9年度体験学習日程

| 月 | 日 | 曜 | 時間 | メニュー | 内容 | 申し込み期間 |
|----|----|---|---------------|------------|-------------------------|------------------------------------|
| 8 | 23 | 土 | 午前10時から午後3時まで | 土器作り(成形) | 粘土で土器を製作します。 | 4/18(金)から8/15(金)まで (土・日・祝日を除く) |
| 9 | 21 | 日 | 午前10時から午後3時まで | 土器作り(焼成) | 乾燥させた土器を野焼きにより、焼き上げます。 | ※両日も参加できる方 |
| 10 | 25 | 土 | 午前10時から正午まで | 腕輪作り | ペンケイ貝を用いて、腕輪を製作します。 | 9/19(金)から10/17(金)まで (土・日・祝日を除く) |
| 11 | 8 | 土 | 午前10時から正午まで | 罫布(アングン)作り | 専用の道具を使って、花瓶敷きなどを製作します。 | 9/19(金)から10/31(金)まで (土・日・祝日を除く) |
| 12 | 13 | 土 | 午前10時から午後3時まで | 釣り針作り | 鹿の角を用いて、釣り針を製作します。 | 9/19(金)から12/5(金)まで (土・日・祝日を除く) |
| 1 | 10 | 土 | 午前10時から正午まで | 罫布(アングン)作り | 専用の道具を使って、花瓶敷きなどを製作します。 | 9/19(金)から12/26(金)まで (土・日・祝日を除く) |

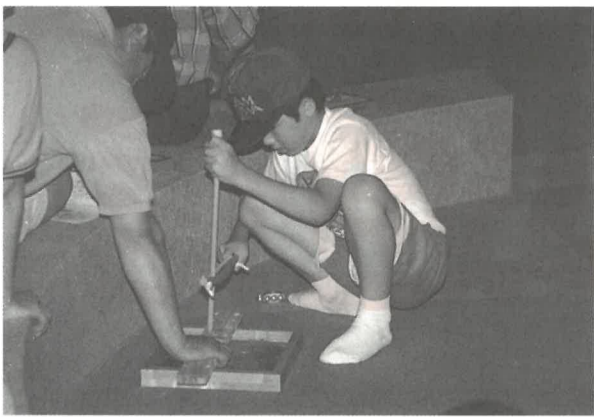
- 場所 三内丸山遺跡内(体験学習館に集合してください。)
- 対象 小学生以上の方なら、どなたでも参加できます。
- 材料費 実費として500円程度必要です。(当日、受け付けで集めます。)
- 持参するもの タオル、筆記用具、(午後までかかる場合は、昼食をご用意ください。なお、遺跡内休憩所に食堂があります。)
- 服装 作業しやすい服装でおいでください。
- 申し込み方法 電話で申し込みを受け付けます。電話 0177-22-1111 内線 5251・5252 受付時間 午前9時から午後5時まで
- 定員 先着50名です。

第二展示室

オープン

体験学習館の一部を、昨年青森でも開かれた「縄文まほろば博」の展示品の一部を中心とした、縄文時代を体験できるような展示室として、二十五日にオープンしました。

展示室には、パソコンゲームや色々な生活道具をはじめ、縄文服の着替え、土器の文様付けなどがそろっていて、様々な体験ができます。



また、これまでの展示室には遺跡全体の復元ジオラマを展示しており、遺跡の大きさを目の当りにすることができまます。大きく変わった展示室で、縄文時代を楽しんでください。

見学時間を延長します

延長します

遺跡の見学時間を七月二十五日から八月二十四日までの間夕方六時まで延長します。

暑い昼間をさげ、涼しくなつてから、ゆっくりと遺跡を見学されてはいかがですか。



実りある発掘調査にするために

三内丸山遺跡

発掘調査委員会

三内丸山遺跡の学術的解明と調査計画を検討するために、考古学、建築学、民族学、植物学、動物学などのさまざまな分野の専門家からなる、三内丸山遺跡発掘調査委員会を設置しました。

第一回委員会を五月十五日に開催し、今年度はあと二回開催する予定です。



連載 ④

三内丸山遺跡をめぐる交流

三内丸山遺跡には、遠く離れた場所から、いろいろなものが運ばれてきています。黒曜石の原産地分析によると、縄文時代中期には、

県内産の他に、長野県霧ヶ峰産や北海道産の黒曜石が使われています。霧ヶ峰産の黒曜石の石鏃（やじり）は、その形などから、製品として三内丸山に入ってきた可能性ががあります。また、同じ時期の新潟県糸魚川地方産のヒスイも出土しています。ヒスイは、原産地か

ら離れた青森と北海道南部で数多く出土していることから、直接、日本海を北上して集落に運ばれ、周囲に分配されたことが考えられます。



ます。

これらから、中期になると他の地域との交流・交易が活発になっていったようです。この時期は、三内丸山の集落も規模が大きくなり、大型掘立柱建物や盛土など、新しい施設がつけられたときです。さまざまな情報を持つ人々が三内丸山に集まり、ものや情報が交換されていたことでしょう。

（黒曜石とヒスイの原産地分析は京都大学薬科哲男博士によるものです。）

一〇〇万人超す

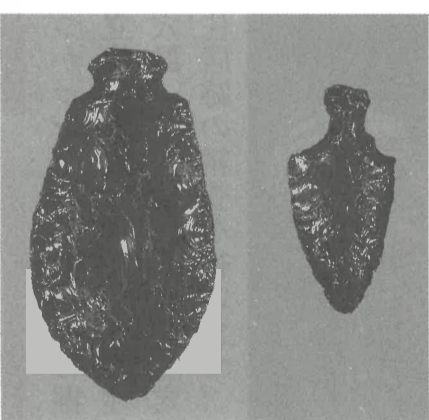
平成六年八月に公開を始めてから、見学者が平成九年七月一日に一〇〇万人を超えました。



遺跡ではセレモニーが行われ、一〇〇万人目の見学者には、記念品として大型板状土偶のレプリカなどが贈呈されました。

情報展

八月末まで「三内丸山遺跡をめぐる交流・交易」と題する展示を行っています。蛍光X線分析による、



ヒスイと黒曜石の原産地分析の結果を中心に、当時の交流・交易の様子を考えます。

今年も盛大に

縄文フェスタ

「活彩あおもり 三内丸山・縄文フェスタ'97」を次のとおり開催しますの、奮って参加ください。

日時 ・ 九月二十日（土）
（前夜祭）
十七時三十分から
・ 九月二十一日（日）
十時から

場所 ・ 三内丸山遺跡



三内丸山遺跡の ごあんない

見学時間 9:00～16:30
（入場は16:00まで）
但し8/24までは18:00まで
ボランティアガイド定時解説
9:00から一時間ごと
（最終は15:30）

交通手段 市営バス
青森駅から運転免許センター行き
三内丸山遺跡前で下車